

(別紙)

令和6年度(令和5年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン シマネケンシャカイフクシギョウダン
法人名	社会福祉法人 島根県社会福祉事業団
フリガナ	ショウガイシャシエンシセツ コウセイセンターセイウン
事業所名	障害者支援施設 厚生センター晴雲
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」÷「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
62.9 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☐ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☒ 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) パラマウントベッド(株)製 エスパシアシリーズ KA-N1721F 4台

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	
間接業務	6 巡回・移動	45 人	80 件	960 件	25 分	18,000 人時間	9 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	45 人	30 件	360 件	5 分	1,350 人時間	1 時間
	8 見守り機器の使用・確認	45 人	30 件	360 件	5 分	1,350 人時間	1 時間
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	
			140 件	1,680 件	35 分	20,700 人時間	10 時間

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

6 巡回・移動 巡回 転落リスクが高い利用者3名×巡回平均27日≒80件
7 記録・文書作成・連絡調整等 巡回記録の作成30日＝30件
8 見守り機器の使用・確認 見守り機器の使用、確認30日＝30件

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

6 巡回・移動 巡回5分×5回 25分
7 記録・文書作成・連絡調整等 巡回記録の作成3名分×1分30秒≒5分
8 見守り機器の使用・確認 3名分×1分30秒≒5分

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	
	5 その他の直接介護						
	6 巡回・移動	45 人	65 件	780 件	25 分	14,625 人時間	7 時間

間接業務	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	45 人	30 件	360 件	5 分	1,350 人時間	1 時間
	8 見守り機器の使用・確認	45 人	30 件	360 件	5 分	1,350 人時間	1 時間
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	
			125 件	1,500 件	35 分	17,325 人時間	9 時間

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

6 巡回・移動 巡回 転落リスクが高い利用者3名×巡回平均22日＝65件
7 記録・文書作成・連絡調整等 巡回記録の作成30日＝30件
8 見守り機器の使用・確認 見守り機器の使用、確認30日＝30件

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

6 巡回・移動 巡回5分×5回 25分
7 記録・文書作成・連絡調整等 巡回記録の作成3名分×1分30秒＝5分
8 見守り機器の使用・確認 3名分×1分30秒＝5分

年間業務時間数想定削減率(%)
16.3%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

・機器を設置したことで、転落事故件数が微減した。(▲0.1件/月)
・頻回な巡視が必要な日が減少した。(▲5日/月)

(5)今後の課題

月当たりの転落事故発生件数の減少幅が想定よりも少なかった。

(6)気づき等について

補助金採択後からの入札執行であったため、導入設置後からの検証期間が短く、効果が見えづらかった。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	有
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	2,000円
職員の質上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	有
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

事故後の記録作成時間などが減少したことで時間外勤務が減少し、退社までの時間が短縮できた。
--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。